

# ホスピタウン便り

発行責任者 ホスピタウン事務局  
VOL52 平成20年4月



## 健康増進、健診、介護予防への新しい取り組み

### 1) 健康増進館の誕生

平成20年3月31日に閉院した中下医院を改装し、健康増進館が出来ました。健康増進館の一階には介護予防センターが、二階には健診センターが開設されます。

### 2) 健診センターの開設

平成20年4月より医療法人真誠会では、真誠会セントラルクリニックに「健診センター」を開設します。鳥取県西部を中心に鳥取県全域を対象とした健診事業を行います。

健診センターは、健康増進館の二階に事務室、健診室、診察室を整備します。

現在検討中ですが、ここでは政府管掌の健康診断を受託できる設備整備を行い、これからの特定健診・特定保健指導の新しい時代にあつたようにする予定です。

一方で、鳥取県西部を中心とする健診事業のために、4月から胸腹部大型健診バスを運行することになりました。これは大型観光バスサイズの堂々たる健診バスです。デザインも派手ですから米子では目立つ車になると思います。

また健診センターは、従来の真誠会での健診、人間ドックのみではなく、平成20年4月から始まる特定健診・特定保健指導も鳥取県西部地区を中心として行ってまいります。

### 3) 介護予防センター

健康増進館の一階は介護予防センターに改築予定です。現在、真誠会デイケアに対する介護予防は人気があり増えつつあります。真誠会デイケアでは、介護度の高い利用者とミックスでご利用いただいておりますが、まだ元気にリハビリをしたいと望んでいらっしゃる介護予防のグループは一つのグループとして、介護予防センターでリハビリができるように準備しています。

### 4) メディカルフィットネス:健康クラブ

主に肥満者、メタボリック症候群の皆さんを対象として特定保健指導には運動療法も取り入れたメタボリック対策の指導が必要です。真誠会セントラルクリニックでは、現在拡張工事中の「メディカルフィットネス健康クラブ」が5月に完成して使えるようになります。

そのため、健康増進及び、メタボリックの方、糖尿病、高血圧など生活習慣病の改善、患者さんへの運動療法など、多方面に渡ってその機能を発揮したいと思います。



医療法人 真誠会  
社会福祉法人 真誠会  
理事長 小田 貢

4月より

# 特定健診・特定保健指導 が始まります!

特定健診とは、今までの住民基本健診や会社の健診のスタイルを変え、生活習慣病予防のためにメタボリック症候群（内臓脂肪症候群）を主なターゲットにした健診です。対象年齢は 40 歳から 74 歳、メタボリック症候群を抽出するために政府が決めた基本的な検査項目を中心とした健診が行われます。

しかし、それらの健診を行う主体（保険者）によってはそのメタボリック症候群を抽出するための基本的な項目以外の検査項目のほとんどが従来の住民健診、職場健診と同じように継続されるようになります。

したがって、特定健診といっても、健診を受ける皆様にとっては今までの健診と特別に変わった印象をもたれることはないと思います。この健診を受けるに当たって何かを用意する必要はありません。

今までの健診と異なるのは特定保健指導です。今までの基本健診、あるいは職場の健康診断を受けた時には異常な値が出た場合、異常値の通知と簡単な生活指導だけで終わっていました。

今回の特定保健指導は、特定健診で基準値以上の異常な結果が出た場合には、結果の程度により、以下のように 3 段階のレベルに振り分けられます。

- 1) 情報提供レベル（今までの健診とほぼ同じ指導）
- 2) 動機づけ支援レベル
- 3) 積極的支援レベル



特定保健指導機関でそれぞれのレベルに応じた指導を受けることが義務付けられました。

そしてその指導を受けた方は、単に結果を聞くだけでなく、その異常値を改善するための生活、行動を変える（行動変容）ことによって、実際に 6 カ月後のメタボリック症候群の改善が見られるように努力することが求められます。また特定保健指導機関は、指導される方が行動変容し、実際にメタボリック症候群から少しでも脱却できるような指導結果を求められています。

以上をまとめると、特定健診を受けることは今までの健診とはほとんど変わりはありませんが、健診によってメタボリック症候群と判定されたら、一定の時間の特定保健指導を受けて、生活習慣の改善と、メタボリック症候群からの脱却、改善が求められるという厳しい時代になりました。

## ごあいさつ



真誠会

セントラルクリニック  
保健師 佐藤 智明

折しも「特定健診・特定保健指導」が開始となる 4 月 1 日より、保健師として勤めさせていただくことになりました佐藤智明です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでの健診や保健指導では、実際の生活変化につながりにくいことがありました。「特定健診・特定保健指導」では、健診を受けていただいた全員の方に、健診結果と生活習慣の関係がご理解いただけるような情報提供を行い、生活習慣の改善を無理なく主体的に行っていただけるよう、管理栄養士・健康運動指導士等と共に応援させていただきたいと思います。そして、ご自分の健康や生活習慣改善の効果を実感していただく機会（チャンス）ができると考えています。

健康のパートナーとしてお役に立てるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

# 巡回福祉バス 「真誠会シャトルバス」 (無料)運行についてお知らせ



これからの高齢社会の中で、高齢者の方は反射神経の衰えを感じたり、一定の病気にかかっている方も自動車の運転に対して、支障を及ぼすおそれがあるという恐怖や不安が募ったりします。

一定の病気の中には、「認知症」も含まれています。「認知症」の疑いがあるとされる方も免許の取消しや停止がなされたりします。従って、高齢者の方は医療機関の受診、健診、お見舞いなどが次第に困難になってきます。

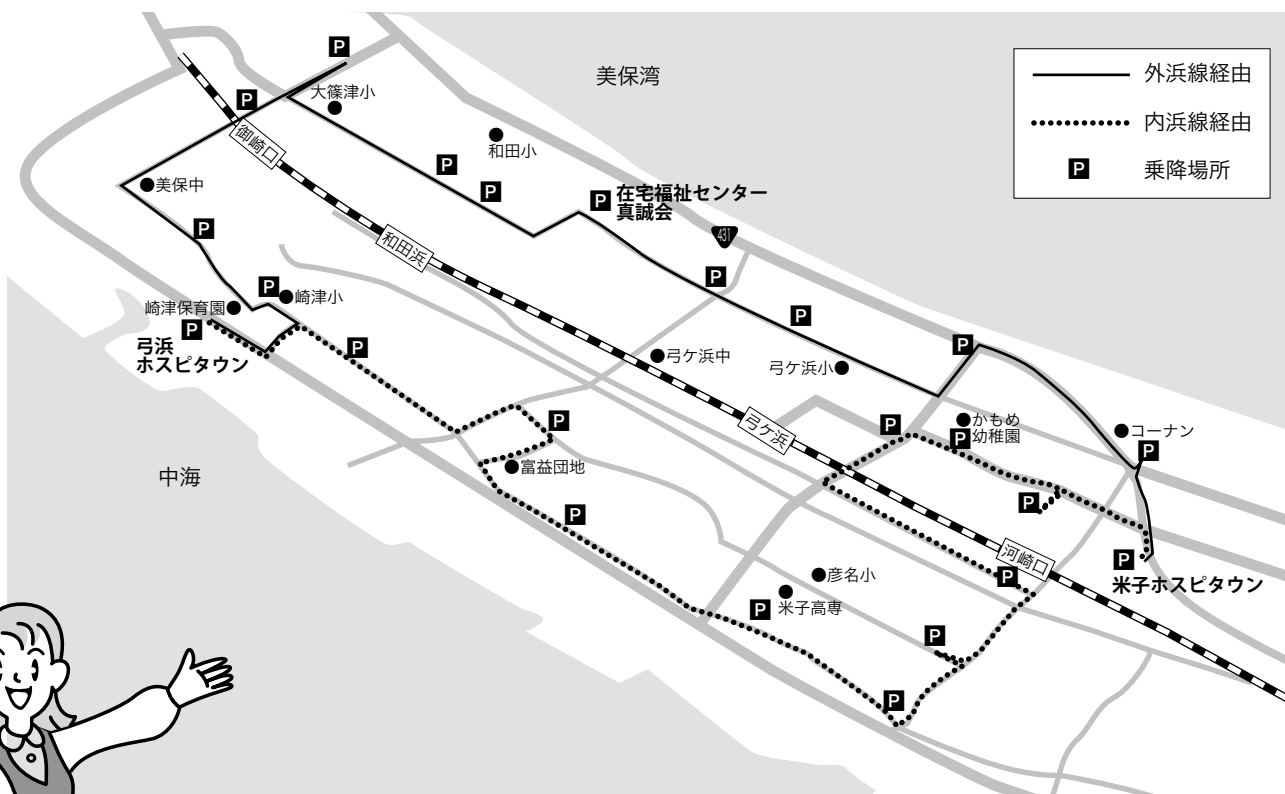
そのような状況の中で、診療圏が米子市内はもとより淀江町、西伯町から境港市まで裾野が広い真誠会では、今までの利用者の方が高齢になっても継続的に真誠会のサービスを受けられることを熱望されていました。

皆様方のご希望にお答えして、平成 20 年 5 月ごろより、米子ホスピタウンを基点とする巡回福祉バス「真誠会シャトルバス」の運行を始めます。当面のサービスエリアは、米子ホスピタウンと弓浜ホスピタウンの往復（内浜道路ラインと、外浜道路ラインの二本）を隔日運行するものです。

5 月から 9 月一杯は試験運行を行い、それ以降は試験運行の状況を踏まえてより実態に沿った運行をしたいと思っています。

実際には 14～15 人乗りの車（通勤用）ですが、利用者が多くなれば 20 人前後乗れるマイクロバスも計画に入れています。

また、当初の運行について、利用者が多くなって強い要望があれば、随時検討したいと思っています。詳しくは、利用者の皆様、地元の連絡網を通してご通知申し上げます。



健康クラブご利用の方もご乗車いただけます！  
時間、順路など詳しいことが決まりましたら、皆様にご連絡させていただきます。

ごあいさつ

## 介護老人保健施設ゆうとぴあ 施設長に就任して



介護老人保健施設  
ゆうとぴあ  
施設長 中下英之助

4月より佐藤先生の後を引き継いで、ゆうとぴあの施設長に就任しました。

私の医師としての歩みは、父親が境港で皮膚泌尿器科の開業医をしており、泌尿器科医になりました。20年間の大学、山陰労災病院等の勤務医を経て、15年前に米子ホスピタウンに診療所を開院しました。近頃では、人口の高齢化と共に地方に置ける医師不足となり、医療制度が崩壊の危機にあり、医療機関も2極化に向けて迷走状態を呈しています。父親は79歳で引退まで開業医をしていましたが、当世の社会情勢を鑑みますとこのあたりで、寄り道して、健康・福祉の医療を目指すのも時節に合った選択のひとつと考えました。このたび真誠会施設拡張という新規計画が立ち上がったのを機会に3月末で診療所を閉鎖、これまでの医療体験が生かせる職場と考えて、医療法人真誠会に勤務となりました。介護老人保健施設ゆうとぴあと真誠会セントラルクリニック外来において皮膚科・泌尿器科診療を行うと共に、これまでの経験を生かして、検診・医療福祉の領域にも携りたいと思います。

現状では医療福祉環境がギリ貧状態にあり、改善は期待できそうにありませんので、施設の職員、入所者、家族の協力の下に、実情に照らして最善のケアを目指して行きたいと思います。皆様方のご指導、ご協力をお願い致します。

### 「健康増進館」開設!!

閉院した中下医院を改装し、真誠会「健康増進館」とすることになりました。

健康増進館の1階が介護予防専門の「介護予防センター」になり、2階が「健診センター」になります。

平成20年4月より改装工事が始まり、4月一杯で完成の予定です。

1階の介護予防センターは、基本的には真誠会デイケアの一部ですが、今まで真誠会デイケアの介護度の高い方と、介護予防の元気な方が混在していたために、介護予防の皆様に必要な介護予防サービスが提供できなかったことを補い、また十分な運動をしたいいただくために、今回介護予防だけを分けてサービスを提供することになりました。



### ゆうとぴあデイケア 改装

米子ホスピタウンにありますゆうとぴあデイケア（介護老人保健施設ゆうとぴあ3階）の改装が完成しました。

今まで部屋と廊下を使っていましたが、部屋と廊下の壁を取り壊してワンルームに改装しました。

広さはもちろん以前と同じですが、壁が取り壊されてワンルームになると、非常に明るく開放的になりました。

また入り口は障子デザインの仕切りが出来たので、和風でも落ち着いた雰囲気になりました。

利用者の皆さまもとても喜んで下さっていますし、スタッフも利用者さんに目が届きやすくケアがしやすいと評判です。

と~っても広くなりました♪





# 真誠会セントラルクリニック

中下英之助先生

## 皮膚科・泌尿器科 外来開始!!

平成 20 年 3 月 27 日 (木) をもって中下医院 (皮膚科・泌尿器科) が閉院されました。

そのため継続的な医療サービスを提供するために、平成 20 年 4 月 1 日からは真誠会セントラルクリニックにて皮膚科・泌尿器科の診療を始めると同時に、ED、育毛外来 (以下で紹介) も行います。

いずれも中下先生が初診を担当しますが、継続的な医療サービスは真誠会の外来担当で行い、引き続き適宜中下先生の外来日に受診していただきます。

中下先生の診療時間は以下のとおりです。

**曜日** 月曜日・火曜日・金曜日・土曜日

**時間** 午後3時～午後5時まで



### “生活の質 (QOL) 向上外来” (ED外来、育毛外来、肥満外来) の開始

ED、薄毛、抜け毛は病気としては医療保険上、治療の対象とはなりません。しかし、ED、薄毛、抜け毛はいずれも個人としては深刻な問題であり、時に生活の質 (QOL) の低下にも結びつくこともあります。

このような医療保険対象外の悩みに対して、自由診療ではありますが対応できるようにするのが“生活の質 (QOL) 向上外来”です。

現在のところ対象は ED、薄毛、抜け毛、肥満などです。

**① ED外来** ED に対しては、数種類の内服薬の中からその方に適したもので治療を行います。

**② 育毛外来** 内服薬の処方にて治療するものであり、一般的な男性の薄毛、脱毛にはかなり高い効果があります。また、薄毛、脱毛の予防のみではなく育毛の効果もかなりあります。約 6 ヶ月単位で効果の判定を行います。

**③ 肥満外来** 肥満外来は主に漢方薬を中心に食事指導、運動療法の指導を行っています。なお、病的な行動肥満に対しては医療保険が適応されます。保険適応ができない程度の肥満では、自費負担にて処方、指導を行います。

ご希望の方は、真誠会セントラルクリニック受付 (TEL0859-29-0099) までご相談下さい。

# 辻田耳鼻咽喉科



辻田耳鼻咽喉科  
院長 辻田 哲朗

## ちりとてちん

仕事柄講演などで人前で話をしなければならないことがよくあります。ところがボクは人前で話をするのが苦手です。文章を書くのはあまり苦にはならないのですが、どうも話をするとなると緊張してしまい人前ではうまく話せません。そこで前から落語が好きだったものだから話術の参考にならないかと落語をよくテレビやラジオで見たり聞いたりしていました。でもこの落語というのはとっても奥が深い。たった一人で高座に上がり口先だけでたくさんの人の心を掴むことが出来る、こんな芸術は世界広しと言えども日本のこの落語だけではないでしょうか？

昔、東京に行った時にたまたま時間ができて浅草の末広亭の寄席に行ったことがありました。そこで初代の林家三平の落語を聞いたのですが、これが期待してたのとは裏腹にまったく面白くなかったのを覚えています。三平の落語はとても落語といえる代物ではなくただ小噺を並べただけの薄っぺらな高座でがっかりしました。一方でボクが好きな落語家は三遊亭円楽です。円楽は話術というか話芸がとっても達者です。本当の噺家です。円楽には、豊かな顔の表情と心憎いばかりの間があります。この間があると聞いていて余韻が伝わって来ますし、情景が頭のなかでパアーツと広がって行きます。そして何よりも言葉に命が吹き込まれます。話がうまい人というのは饒舌というよりも間の取り方がうまい人のような気がします。円楽の落語で特に好きなのは「藪入り」と「笠碁」です。特に「藪入り」がいいですねえ。これは奉公に出たかわいい一人息子が何年ぶりかで家に帰って来る時にそれを迎える親のドタバタを面白おかしく噺にしたものですが、子を思う親の気持ちが伝わってきて思わずホロリとさせられます。

また、もうこの号が出る頃には終わっていますが NHK の朝ドラで「ちりとてちん」をやっていて、大阪が舞台でヒロインが女性落語家と言う設定で、これがまた面白くて貫地谷しほり演じる徒然亭若狭がちょっとドジで間が抜けていて、まるで落語そのもので毎日欠かさず楽しみに見えています。

落語を聞いて間の取り方とか少しは話がうまくなれるかなと思ってますが、どうも今のところはそううまくはいきません。他の人の講演などを聞いていても同じ内容でも表現力の違いで受けるインパクトが全く違うのがわかります。ボクもなかなか話がうまくなれませんが、患者さんと話をする時、話し方がとても大事ななあ、言葉一つにも気をつけんといけんなあと思う今日この頃です。

## 真誠会でお花見♪

平成 20 年 4 月初旬、真誠会セントラルクリニック前の桜も満開になりました。

今年は、ネットケア前の駐車場を利用して、お花見を開催しました。

春日和の暖かい天候の中、桜を眺めながら利用者の皆様は外でお弁当を召し上がりました。お花見しながらのお昼ご飯に「おいしいね～（＾＾）」と微笑んでいらっしやいました。

来年もきれいな満開の桜が見れることでしょう♪



# いえはら歯科



いえはら歯科  
院長 家原 猛

## 平成20年4月から 医療制度が変わります。

歯科・内科など外来診療を中心にまとめてみました。

### ●後期高齢者医療制度について

75 歳以上の方 (75 歳の誕生日から)

65 歳～74 歳で一定の障害状態の認定を受けた方、の医療制度が別立てとなります。

これまで被扶養者 (配偶者など) であった方も、原則被保険者となります。

それぞれに保険料を納め、窓口負担は 1 割。

(これまで現役並み所得で 3 割負担の方はそのまま 3 割です。)

※これまで被扶養者であった方等は、続柄・年齢・同別居・被保険者・その人の収入等によって被扶養者としての認定が異なりますので、最寄りの社会保険事務所 (健康保険組合) にお問い合わせください。

※国民健康保険の被保険者の手続きについては、お住まいの市町村にご相談ください。

※75 歳以上の「現役並み所得者」とは、

同じ世帯に個人住民税所得 145 万円以上の後期高齢者医療保険加入者がいて、

同時に世帯に後期高齢者医療保険加入者が 2 人以上いる場合……世帯収入が 520 万円以上

同時に世帯に後期高齢者医療保険加入者が 1 人だけ場合……世帯収入が 388 万円以上

### ●70～74 歳の方の窓口負担は、

(平成 20 年 4 月～21 年 3 月までは) 1 割に据え置かれます。

(但し、これまで現役並み所得で 3 割負担の方はそのまま 3 割です。)

※70～74 歳までの「現役並み所得者」とは、

同じ世帯に個人住民税所得 145 万円以上の 70～74 歳までの国民健康保険加入者がいて、

同時に世帯に 70～74 歳までの国民健康保険加入者が 2 人以上いる場合……世帯収入が 520 万円以上

同時に世帯に 70～74 歳までの国民健康保険加入者が 1 人だけ場合……世帯収入が 388 万円以上

### ●小学校就学までのお子様の窓口負担が 2 割に軽減されます。

ちなみに米子市はこの例です。

他自治体によっては、さらに減免されている場合もあります。

### ●特別医療の窓口負担も変わります。

※紙面の都合上、「よりよい暮らしのために」

鳥取県障害福祉課ホームページ <http://www.pref.tottori.jp/shougaihukushi/> をご覧下さい。



出石病院 阿江竜介先生

**口腔ケア講演会開催**

平成 20 年 2 月 16 日（土）、出石病院阿江竜介先生を講師に迎えて、『『元気』な高齢者をめざすマネジメント～摂食嚥下と栄養管理～』と題して、口腔ケアの講演会が開催されました。助手として、同じ出石病院の林先生もいらっしやいました。

阿江先生は、自治医科大学出身で現在は、出石病院（兵庫県豊岡市）を拠点として新しい口腔ケアの実践に取り組み、同地区の誤嚥性肺炎を根絶するほどの実績を上げている先生です。



左から林先生、阿江先生、小田理事長



実技指導をしていただきました。



意見交換会に熱が入りました!

阿江先生は、米子ホスピタウンで3元中継による講演の後、口腔ケアの実技指導していただきました。その後、場所を弓浜ホスピタウンに移して、そちらでも実技指導をされました。真誠会のスタッフは、阿江先生の情熱的かつ実体験に基づいた説得力のある講演に熱心に耳を傾けておりました。誤嚥性肺炎の防止のため、また高齢者がいつまでも口から食べ物を摂取できるためにも、口腔ケアはとても大切であることがよく理解できました。

真誠会ではその後、口腔ケアのプロジェクトを立ち上げ、新しいマニュアル作成と、実践計画、研究発表計画を作り上げました。

今後真誠会での誤嚥性肺炎が激減し、また利用者の方がいつまでも自分の口から食べ物が摂取できるようなケアに結び付けたいと思います。

平成20年**9月28日**（日）**真誠会20周年記念式典・日野原重明先生講演会予告**

平成 20 年 9 月 9 日は、真誠会開設 20 周年記念日となります。

その 20 周年記念式典は、聖路加国際病院理事長・医療法人真誠会名誉理事長日野原重明先生をお迎えして、米子全日空ホテルで開催されます。

せっかくのこの機会に「新老人の会」鳥取支部が主催で日野原先生にご講演いただくことになりました。

9 月 28 日には、97 歳のお誕生日（10 月 4 日）に近い日野原先生ですが、私たち以上に情熱的で前向きに生きていらっしやる姿を私たちに見せていただけたと思います。

講演のタイトルは決定次第「新老人の会」鳥取支部、NPO 法人がいなネット、医療法人・社会福祉法人真誠会を通じて皆様にお知らせいたします。

講師◆聖路加国際病院理事長 日野原重明 先生  
日時◆平成20年9月28日午後3時30分～（予定）  
場所◆米子全日空ホテル





富益地区 (第2、第3) 富久寿会、上和田地区 下和田地区  
**小田院長講演会「終わりよければすべて良し」**



平成 20 年 2 月 14 日 (木) 富益地区 (第 2、第 3) 富久寿会、3 月 13 日 (木) 上和田地区、4 月 10 日 (木) 下和田地区で、医療法人真誠会小田貢院長による講演会が行われました。

今回の講演会は、それぞれ地元の皆様が主体となって企画されたものです。

小田院長は、「終わりよければ すべて良し」という演題で、これからの後期高齢者医療制度、介護保険の現状をわかりやすく説明しました。また、いつまでも自分のことは自分で出来ることの大切さ、そのためには自分で健康を管理し、そして人に愛される人間として幸せな人生を送ることの大切さについてジョークを交えながら約一時間の講演をしました。会場は小田院長のジョークで聴衆の皆様が腹を抱えて笑うほどでした。この笑いそのものも講演の大きな目的であり、笑いの大切さを実体験できる講演会でした。

小田院長は地元貢献、ボランティアとして、このような講演会を通じて住民の皆様とふれ合いの機会が持てたことをとても喜んでいました。

今後も小田院長は、皆様方からご要望があればボランティアとして講演をお引き受けいたします。

☆小田院長への講演の依頼は真誠会セントラルクリニック 10859-29-0099 秘書課までご連絡ください。

私たち、  
**訪問介護  
 弓浜真誠会**  
 です!!



## “まっちゃんよ!” の声が聞きたくて

介護保険制度が施行された当初、手探り状態でスタートしたのが訪問介護です。

利用者さんにとっても、ヘルパーという職種がご理解頂けていませんでした。ヘルパー自身も自らの仕事を明確に認識できていなかったのが実状でした。

あれから 8 年、今やヘルパーの職種も定着し、求められるものも年々多様化してきました。

しかし、大切なことは専門的技術以上に心のこもったサービス・ホスピタリティの実践ではないでしょうか。

地域の方々に、少しでも心地よく暮らせるようお手伝いさせて頂く感謝の気持ちが一番だと思っています。

そのうえ、利用者さんから「ありがとう」と言って頂けたり、心のふれあいが出来た時は『本当にこの仕事をしていて良かった』と思えます。これからもホスピタリティ・マインドをモットーに歩んでいきたいと思っています。

私たち弓浜真誠会ヘルパーは、利用者さんの「まっちゃんよ!」の声が聞きたくて毎日奮闘しています。



## 各施設 家族会特集



### 介護老人保健施設米子ゆうとぴあ (河崎)

ゆうとぴあでは、平成 19 年度「在宅復帰に向けて」というテーマで家族会を 3 回開催致しました。

2 月に行った家族会では、認知症の予防法と口腔ケアの必要性についての講義や、退所された方のご家族に実際に伺った、退所後の状況を発表させて頂くと共に在宅サービスについてご説明させて頂きました。又、実際に体験して頂く企画もありました。手を洗ってバイ菌の残りやすい場所を知って頂いたり、調理をして、カロリーの抑え方や献立のバランスのとりかた等を学んで頂きました。試食もご用意し、ご参加された御家族様からは好評を得ています。

本年度は、多くの御家族様にゆうとぴあの家族会が楽しみとなるように、様々な形で参加・体験して頂ける企画を計画していきたいと思えます。



### 介護老人保健施設弓浜ゆうとぴあ (大崎)



弓浜ゆうとぴあでは家族会を、平成 19 年度初めて 3 回行いました。それは家族会が相互理解の場として重要な役割を持っているとあらためて感じたからです。今回の家族会では、1. 後期高齢者医療制度について 2. 屋外レクリエーションについて 3. リハビリテーションの体制について、そして現在、真誠会全体で力を入れて取り組んでいる「口腔ケア」についての介護教室を開きました。口から食べることの重要性、口腔ケアを行うことで疾病予防になることを、実演を交えて話をしました。実際にご家族様にご利用様の口腔ケアをしていただいたときには、「こんなに大事なことだとは思わなくて勉強になりました」との声をいただきました。また実技を伴う時間は、ご家族様同士のコミュニケーションの場としてもよい機会になっていたように思います。今後は、ご家族様と施設だけではなく、ご家族様同士の意見交換も活発に行える有意義なものにしていこうと思えます。



### 介護老人福祉施設ピースポート (大崎)

平成 19 年度、ピースポートではご家族様との共催で、年 4 回家族会を開催することが出来ました。

写真は平成 19 年度第 3 回ピースポート家族会での様子です。ご家族様からとても関心のある「認知症予防」について弓浜地域包括支援センター坂本さんの講演で、楽しく職員も一緒になって認知症予防をしている様子ですが伝わっていますでしょうか。

今年度も家族会役員様と一緒にご家族様同士の交流や、出来る限り外泊、外出ができるように興味のもてる介護教室を企画し予定しています。



# 平成20年度 新入職員入社式

平成 20 年 4 月 1 日 (火)、医療法人・社会福祉法人真誠会では入社式が行われました。

本年の新入職員は 26 名でした。真誠会の入社式は、例年米子ホスピタウンゆうとぴあ広場で行われますが、本年はメディカルフィットネス・健康クラブの拡張工事のため、真誠会 20 年の歴史の中では初めて、弓浜ホスピタウンでの開催となりました。

真誠会新入職員は、4 日間の新人研修を受けてからそれぞれの部署に配属されました。



新入職員を代表して佐藤智明さんが決意を述べました!



26名の新入職員です

## メディカルフィットネス 健康クラブの充実について

平成 20 年 4 月から特定健診・特定保健指導が導入され、生活習慣病、メタボリックシンドロームの予防が非常に重要な課題となります。

生活習慣病、メタボリックシンドロームの予防、対策には、基本的には生活習慣を改善することですが、その中でも運動療法は特に重要です。

また生活習慣病の予防だけではなく、介護予防(介護されることがないように未然に防ぐ)のためにも運動は大切です。

若い人や、生活習慣病のない方にとっても更なる“健康増進”は必要なことです。

真誠会でもそのような健康増進、生活習慣病の予防のために 3 年前に「真誠会メディカルフィットネス健康クラブ」を始め、すでに約 100 人ぐらいの皆様方に利用していただいています。

しかし、平成 20 年 4 月から始まる特定健診・特定保健指導の開始により、運動療法の必要性はさらに高くなると思われ、現在のゆうとぴあ広場(河崎)での健康クラブのスペースの拡充をせまられておりました。

このため、平成 20 年 3 月よりゆうとぴあ広場中庭の増築工事を開始しました。

完成は平成 20 年 4 月末で、5 月より共用開始となる予定です。メディカルフィットネスとしてのスペースは従来の約 2 倍の広さとなり、ゆったりとした空間で運動、エアロビクスなどを楽しみながら、健康増進をしていただきたいと思います。

## 巡回福祉バス 「真誠会シャトルバス」(無料)も ご利用いただけます!

### ○会費制

|       |           |
|-------|-----------|
| 1か月   | 4,200円税込  |
| 3ヶ月一括 | 12,000円税込 |
| 半年一括  | 21,000円税込 |

### ○場所

|    |                  |
|----|------------------|
| 河崎 | ゆうとぴあ広場          |
| 大崎 | 弓浜ホスピタウン2000年ホール |

### ○ご利用時間

|    |                 |
|----|-----------------|
| 河崎 | 8時~10時半・15時~18時 |
| 大崎 | 9時~10時半・15時~18時 |

☆時間内であればお好きなときにご利用できます。

### お問い合わせ・お申込は……………

|    |                       |
|----|-----------------------|
| 河崎 | 支援本部受付 (☎24-5666)     |
| 大崎 | 弓浜支援部受付 (☎48-2331) まで |

米子ホスピタウン、弓浜ホスピタウンでは無料のお試し体験サービス券を発行しておりますので、お気軽に窓口にお問い合わせください。



ホームヘルパー2級養成講座  
**真誠会 ホームヘルプ アカデミー**  
**開 講**

OPEN!

医療法人真誠会では、兼ねてから念願であったホームヘルパー 2 級養成講座「真誠会ホームヘルプアカデミー」を開講することになり、5月12日（月）からの第1期講座の募集を開始しました。

ホームヘルパー 2 級養成講座は、もちろん全国標準の教育課程に基づいて行われますが、講師陣は真誠会でリーダー的立場の高い知識と技術を持ったスタッフで構成しております。

また教育の内容として、単にホームヘルパーとしての知識、技術だけではなく真誠会の理念である「愛と謙虚さ」を中心とした、社会人としての品格を身につけていただくような講座にしたいと思っております。もちろん実習はすべて真誠会で行い、即戦力として実力をつけていただきます。

アカデミーの校長は、医療法人真誠会 理事長 小田貢、副校長は真誠会看護介護統括部長 森本靖子です。二人とも教育に関しては並々ならない情熱と決意を持って臨みます。



**真 誠 会**  
**ホームヘルプ アカデミー**

**ホームヘルパー 2 級養成講座受講生募集開始!**

**H 2 0 年 5 月 1 2 日開講予定 (短期集中約 6 週の受講)**

当  
アカ  
デミ  
ーの  
特  
徴

- ①充実した講師陣です
  - ②充実した現場実習です
  - ③短期間の130時間で習得可能です
  - ④就職希望の方に面接会の開催
- ※真誠会グループ内での就職が可能!

受  
講  
料

**80,000円**

※消費税込み  
 ※テキスト代込み

案内書を無料送付いたします

医療法人 真誠会 〒683-0852 米子市河崎580番地

**TEL(0859)24-5666 FAX(0859)24-6032**